

うまく付き合うといふこと

明日から暖かくなるとのこと。いよいよ本格的な春の到来と
言えるようです。しかし、私はいよいよ心してかからなければ、
ならないと思っています。コロナではありませんよ。花粉症で
す。生徒のみなさんの中にも、毎年花粉症に苦しんでいる人が
いるのではないでしょうか。

私が花粉症を発症したのは二十歳の時です。もう四十年も花
粉症と付き合っています。初めて症状が出た時には、夏でもな
いのに（中学生の時、流行性の結膜炎にはなったことがありま
した）どうして目がかゆくて充血するのだろうと、それがアレ
ルギー症状だと思ってもみませんでした。

あれから四十年。今では、この季節になると「目をこすらな
い」「マスクを着用する」「帰ったら洗眼、点鼻をする」「花
粉が付着しない服を着る」「外出は極力避ける」「早めに受診
する」「体を冷やさない」などが、無理なくできるようになり
ました。私の体の中の花粉探知機能も性能が向上し、鼻のムズム
ズ感や目の異物感がいち早くわかるようになりました。自分で
言うのも何ですが、花粉症とうまく付き合えるようになってき
たのだと思っています。

うまく付き合うと言えば、新型コロナウイルスについても同
じです。日本で初めて新型コロナウイルスの感染が確認されて
一年が経ちました。この間に、いろいろな感染症対策がとられ
てきました。

マスクの着用一つとってみても、初めは窮屈さや息苦しさを
感じることもありました。登下校中にマスクを外して、地域の
方から心配の声が届いたこともありましたね。手の消毒も毎日
のルーティーンとして、玄関に入ると自然と足が向くようにな
りました。楽しいはずの給食においても、私語を慎み、静かに
摂（と）ることに慣れました。今では、様々な対策が生活の一
つとなって、私たちは当たり前のように取り組んでいます。

新型コロナウイルスの終息はまだまだ先のようです。感染が
広がる前の状況が戻ってくるのを今か今かと待つより、現状を
冷静にとらえた上で、感染症対策を生活の一部として取り入れ
るほうが賢明です。それが「うまく付き合う」ということだと
思います。

花粉症より新型コロナウイルス感染症の方がよいと思えるこ
とが一つだけあります。それは、新型コロナウイルスは、人間
の知恵と努力で排除することができるといふことです。自粛や
時短、手洗い、マスク着用などの人間の努力さえあれば、状況
はどんどん好転していくことでしょう。花粉症は、体質の問題
です。それが変わらない限り、一生付き合っていかなけれ
ばならないのです。

（二月九日 記）